



会報 JAMT

JAPANESE ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所
 財団法人日本臨床衛生検査技師会
 発行責任者 小崎繁昭
 編集責任者 蒲池正次、小郷正剛、下田勝二、
 山城元俊、及川雅寛、谷口薫、
 高山秋也
 〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号
 TEL (03) 3768-4722 FAX (03) 3768-6722
 ホームページ <http://www.jamt.or.jp>

平成20年度第1回定期総会

平成 20 年 5 月 29 日、ホテルニューオータニ札幌において、平成 20 年度第 1 回定期総会が開催された。この総会において平成 19 年度事業が承認された。

追加議題として監事からの指摘事項として、空席の副会長(会長推薦枠)があらためて提案され認められた。これにより、副会長 3 名体制となった。会員からは、要望事項があり今後その要望を如何に事業に取り入れるかが課題であろう。あらたに公益認定を目指す日臨技にとって、従来運営の総括的な事業報告とも云える。

平成 19 年度事業報告<総括>

第 5 次医療制度改革も本格的に始動する中、日臨技役員においては、任期後半で事業計画書に盛り込んだ事業計画はほぼ達成できた。

重点事業として取り組んだ、臨床検査標準化事業は当初の参加施設数を大幅に上回る応募があり、都道府県技師会のご協力を得て年度内に年度報告書を配布した。この標準化事業は、本年 4 月からメタボリック健診が制度化され、開始する中で当会が主導的な立場でスタートした。臨床検査精度管理調査事業で積み重ねた組織力と連帯感が功を奏し、検査データは精度の高い評価を得ている。本事業は平成 20 年、21 年度までの 3 カ年計画で実施している事業である。

特別事業については、監理企画調整部の下に特別委員会を組織し、日臨技創立 55 周年、法人化 45 周年、法改正記念式典を併せて挙行了。5 年ごとに執り行われるこの記念すべき式典において、全国の会員 88 名が永年臨床検査技師として奉職した功績が大であるために厚生労働大臣表彰を受章した。

また、輸血業務一元化に関する研修会は、法改正記念事業として位置づけし、厚生労働省の後援と輸血学会の支援もあってこれまで 3 カ年間実施した。都道府県技師会が実施した研修会とあわせると、全国の会員 20,000 名以上が受講し実を上げているところである。

8 地区ジョイントフォーラムでは、世界エイズデーである 12 月 1 日を開始日として、1 週間にわたり全国 26 ヶ所の大型街頭ビジョンでエイズ予防啓発 CM を放映すると共にエイズ予防リーフレット等を配布した。都道府県技師会においては、健康まつり等で国民に対して衛生思想の普及啓発活動を主たる目的に、共催開催した。

技師のスキルアップを目的に立ち上げた日臨技の認定制度も緒についた。認定一般検査技師 (195 名)、認定心電技師 (115 名) が誕生した。その他の認定として認定臨床染色体遺伝子技師についても、倫理面と守秘義務から重要な認定と考えている。

生涯教育制度履修率の向上、学会開催のあり方等改革を進めた他、宮崎県技師会のご尽力により、医学検査学会を盛会裏に開催できた。

平成 20 年度は、公益認定申請、日韓交流 30 周年記念事業など大きな事業を抱えている。また、平成 21 年度は第 3 回 AAMLS 学会の開催も予定されている。

◆平成 20 年 3 月 15 日現在の登録会員数

- ◇ 会員登録数 49,078 名 (前年同期 48,539 名)
- ◇ 継続会員数 45,899 名 (前年同期 45,444 名)
- ◇ 新入会員数 3,179 名 (前年同期 3,149 名)

◆ 紙面の都合にて、詳細は<総会議案書>を参照のこと。質疑応答・要望については、次号に掲載予定。



- P01: 平成 20 年度第 1 回定期総会・事業報告<総括>
- P02: 執行体制一部変更・平成 20 年度代議員一覧
- P03: 平成 20 年度各種表彰受賞者・日韓代表者会議
- P04: 日韓協定締結 30 周年記念式典
- P05: 日韓交流功労者特別表彰・日韓共同声明
- P06: 第 57 回医学検査学会 in Sapporo -1

- P07: 第 57 回医学検査学会 in Sapporo -2
- P08: ひとくち英会話・日韓 FORUM
- P09: 地区短信<発芽から開花へ>・臨検小話=その 4 =
- P10: チョット気になるキーワード<指静脈マナー>
- P11: 地区短信<源氏物語千年紀>
- P12: ケンサ EXPO'09 テーマソング・編集室